

第 105 号
2015 年 6 月

ラ・ルーラ通信

<発行>
中部学院大学
子ども家庭支援センター
〒504-0837 岐阜県
各務原市那加惣田町30-1
Tel.058-375-3605
fax058-375-3609



“こころ”の住人

中部学院大学短期大学部幼児教育学科
教授 杉山 祐子

皆さん、毎日の生活の中で、子どもさんの成長に目を見張ることが一杯でしょうね。

私の子どもがまだ3歳の頃でした。私は何かすごく怒っていたのでしょ。その時に「お母さん、あんまりおこるとね、心の中のくろいさんが大きくなって、しろいさんがいなくなっちゃうよ。」と言いました。「えっ？くろいさん？しろいさん??」子どもには、わたしの“こころ”の中で、こわい顔をしたくろいさんと悲しそうなしろいさんが見えたのでしょ。多分、幼稚園でそのような話を聞いてきたのでしょね。それ以来、自分ながら、怒っていると本当に“こころ”に住んでいる2人が見えるような気になりました。

神田英雄という心理学者が、「育つとは、心の中におだやかな人がたくさん住んでいる状態。その人たちは何があっても微笑んでくれる。その人を悲しませたくないと思うこと。」こんな素敵なことを言っています。子どもの小さな“こころ”には、たくさんの住人がいます。大好きなお母さん・お父さん、おじいちゃんおばあちゃん、兄弟姉妹、保育園の先生、おともだち…。目の前に実物がいても、その一番おだやかでいつもここにこほほえんでくれている姿が、住人になれるのでしょ。子どもは、大きくなるにつれ、悪いことも覚えます。つい、悪いことをしてしまいそうになる時、それを抑制するのは、罰によってではありません。その“こころ”の住人の、悲しそう顔が浮かぶことで、自分をコントロールします。だから、子どもの“こころ”の中に、おだやかな人がたくさん住んでくれますように。

2歳半ごろの子どもは、自我のかたまりです。おやんちゃんも激しくなる時期で、つい叱ってしまいます。そこで、一つ試してみてください。子どもが自分に投げかけてきたこと全てに、まずは「わかった。」「そうだね。」と、肯定してください。それから次の1手を打ちましょう。いきなり否定するのではなく、この1言で子どもはまず聞き入れてもらえたという肯定を感じます。その繰り返しが、みなさんを子どもの“こころ”の住人にして、人生最強の味方となります。どうぞ、この「わかった。」「そうだね。」をぜひ試してください。さもないと、私のように“こころ”の住人が「くろいさんとしろいさん」になってしまうかもしれません。これから社会のありとあらゆる出来事と向き合っていかなければならないわが子に、いつも一緒にいられるために、さあ、“こころ”の住人になりましょう。そして住人も大勢が良いです。みんなで子どもの成長を応援していきたいものです。

余談ですが、「胸が躍る」、「胸が痛む」と言いますが、“こころ”の住人のしわざかもしれません。わが子には「胸を張って」生きていってほしいですね。



「子育て実践プログラム」大好評！

6月の始めに、今年度初めての「子育て実践プログラム」が幼児教育学科 岡田泰子先生により「音楽とともに子育てを」という演題で開催されました。19組の親子さんの参加がありました。学生も含め、50名ほどの参加者となりました。岡田先生のピアノ演奏に癒され、子どもはリズムに乗って身体を揺らしたり歌を歌ったり…。楽しいひとときを過ごしました。



また特別に「チェンバロ」（鍵盤を用いて弦をプレクトラムで弾いて発音させる楽器）の曲も聴くことができました。終了後は楽器の内部も見せてもらい、いつの間にかチェンバロの周りには人だかり。ママも学生も職員も興味津々で、楽器を見たり触れたりの熱心な勉強会となりました。

このプログラムは様々な内容を用意しています。お楽しみに！

週替わりのコーナー遊び

ラ・ルーラ内の常設の遊具に加え、カプラ・ブロック・新聞紙プールなどの遊具が週単位ででてきます。環境が変わることで遊びも変化し「ねえねえ見て～」と子どもたちは得意げにスタッフ保育士を呼び、嬉しそうに作品を見せてくれます。お子さんと一緒に大人も楽しめる遊具もたくさんあります。どうぞ一緒にお楽しみください。



積木とデユプロの作品

2歳の子どもたちが楽しみながら積み上げて並べていったらいつの間にかできてしまった積木の大作。出来上がった時の満足した得意顔が印象的でした。



カプラの作品

平積み「船」はA君の力作。自分たちの背よりも高く積み上げた「塔」はBちゃんとCちゃんの作品。ドキドキワクワクしながらどんどん積み上げていく子どもの笑顔とそれを見守る大人の優しいまなざしが素敵でした。



学生主催の催し「みんなで遊び隊！2015」＆「夏祭り」



みんなで遊び隊！2015

第2回「作ってあそぼう」

一ワクワクびっくり 水遊び・光遊びー

日時：6月21日（日） 9:00～12:00

対象：年少組～小6（就学前のお子さんは親子参加）

申し込みが必要です。詳しくはスタッフまで。



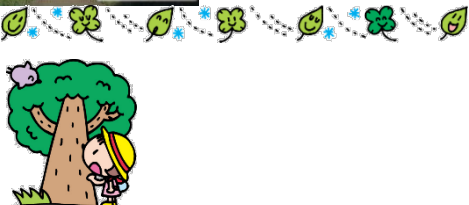
ラ・ルーラ夏まつり

日時：7月19日（日） 18:00～20:00

遊びコーナーや屋台もあり

盆踊りを踊って昔ながらの夏祭りです。

ご自由にご参加ください。



“ラ・ルーラ畑”の楽しみ

玉ねぎの収穫

5月の末に玉ねぎを収穫しました。数日間に渡って収穫を楽しみました。大人には簡単に抜けるのですが小さなお子さんには力の入れ方が結構難しいようでそこが反対に面白かったようです。「どんな料理にしようかなあ」とママたちのおしゃべりも弾んでいました。



サツマイモの苗植え

玉ねぎ収穫の次は畑を耕して今度はサツマイモ畑に大変身！今年は「畑サークル」の学生が早朝より畑を整えてくれ、そこへサツマイモの苗を植えました。

秋の収穫まで、水やり・草引きなどの世話も楽しむ「いもほり隊」を募集しています。興味のある方はスタッフまでどうぞ。



収穫野菜で「エンドウご飯」

畑で収穫したエンドウで作った料理の写真が届きました。こんなふれあいもラ・ルーラ畑ならではの楽しみです。



歯と口の健康習慣

6月4日～10日は「歯と口の健康習慣」です。この頃のお母さん方からの悩みのひとつの「歯磨き」。嫌がることなく仕上げ磨きをしっかりさせてくれたり、自分で磨くことができれば嬉しいのですが、大人の思うようにはなかなかありません。そこで歯の健康のためのいくつかのポイントを！

生活リズムを整えましょう

まずは「カミカミ歯ブラシ」



耐えず口の中に食物があるダラダラ食べは口の中を清潔には保てません。食事やおやつはメリハリをつけましょう。

子どもの歯磨きの後に大人が仕上げ磨きをするのが理想ですが、気負い過ぎるとなかなか上手く行かないもの。「磨く」行為が出来なくても、歯ブラシをガシガシ噛んでその後「ブクブクうがい」をするだけでも口の中は清潔になります。

学生とのかかわり

子ども家庭支援センター「ラ・ルーラ」は地域の親子さんが遊ぶことのできる施設ですが、他の施設と大きく違う所は学生の学びの場でもあるということです。各務原キャンパス教育学部の「子育て支援の基礎」「地域子育て支援実習演習」などの授業やゼミ単位でのかかわりなど様々です。また、関キャンパスの看護リハビリテーション学部理学療法学科や短期大学部幼児教育学科のゼミ生も実習にきています。

授業だけではなく、吹奏楽部の「ランチタイムコンサート」は自主的な活動としてすっかり定着しています。日常的な学生とのかかわりも楽しんでください。





ラ・ルーラ開設日>火・水・木・金・土曜日 (時間 10:00~16:00)



催しがあるときも ラ・ルーラ内では自由に遊べます。

7月の予定						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2 みんなで遊ぼう 11:00~11:45	3	4
5 休み	6 休み	7	8 ママと遊ぼう 11:00~11:45	9	10	11 作って遊ぼう 11:00~
12 休み	13 休み	14 11:00~ お母さんのための リフレッシュ講座	15	16	17	18
19 休み 夏祭り	20 休み	21	22	23	24 図書館読み聞かせ 11:00~	25
26 休み	27 休み	28	29 赤ちゃん集まれ 11:00~11:45	30	31 7月の誕生会 12:30~13:00	

*毎日 11 時頃にお話しの時間があります。

*各サロン・子育て実践プログラム等、ラ・ルーラ利用料(保険料)にてご利用いただけます。

7月の行事 * 内容紹介

2日 みんなで遊ぼう (2~3歳児対象) 旧:げんき広場
布遊び (大小様々な布を使って遊びます)

8日 ママと遊ぼう (1~3歳児対象) 旧:にこにこ広場 布遊び & かさ袋ロケット

11日 作って遊ぼう 「水遊び遊具」を作って遊びます。

14日 お母さんのためのリフレッシュ講座 「キラキラモビール&キラキラリース」

19日 移動図書館・読み聞かせ 図書館スタッフによる 本の紹介と読み聞かせ

29日 赤ちゃん集まれ (0歳児対象) 親子ふれあい遊び & 交流

31日 誕生会 7月生まれのお友達を みんなで祝います。

3・7・17・21・31日 ランチタイムコンサート
吹奏楽部員(学生)による ミニコンサート

尚、各行事・催しは定員 15~20 組、準備のため事前参加申込みが必要です。

お問い合わせ先 電話:058-375-3605 FAX:058-375-3609

